研究開発目標（最終年次）

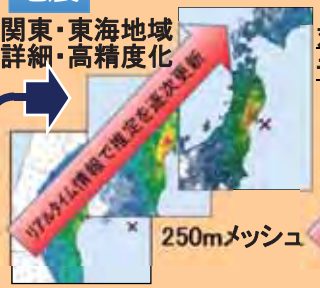
- ◆ 地震動については、関東・東海地域を対象とした地域詳細版リアルタイム被害推定・状況把握システムを構築する。
- ◆ 課題①、②との連携のもと、対象地域における津波、豪雨を対象としたリアルタイム被害推定・状況把握システムを構築する。
- ◆ 他の研究課題・「気象災害軽減イノベーションハブ」の研究成果との連携を図る。

リアルタイム被害推定・状況把握システム

リアルタイム被害推定

地震　対象：全国

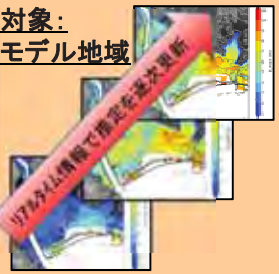
関東・東海地域詳細・高精度化



250mメッシュ

津波・豪雨

対象：モデル地域



地震被害：地震動及び建物の周期特性を考慮

- 建物被害推定
- 人的被害推定
- 津波/豪雨浸水被害

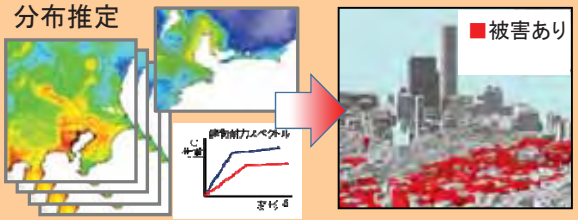
被害状況把握

各府省庁や関係機関等で集約される被害状況に関する情報を取り入れ、**推定情報の確定化、被害状況の把握**

3次元地盤モデルの構築

関東・東海地域を対象とした地域詳細版システム(地震)

周期特性を考慮した地震動分布推定　被害推定のイメージ



災害対応支援のための利活用システム

実証実験による利活用システム検証

災害対応の意思決定支援

被害状況に関する情報

災害情報収集システム

地球観測衛星を利用した災害情報

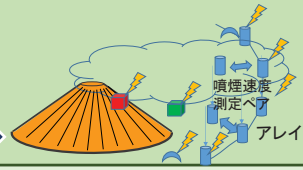
ソーシャルメディアを用いた災害状況要約情報

インフラ被災情報

インフラ施設の被害予測の試行データ

カメラ・SAR画像等より得られる施設被害情報

火山ガス等のリアルタイムモニタリング技術開発



野外における運用試験・実証実験

災害対応

知見の構造化によるWebアプリ「災害対応チュートリアル」

・Web版アプリ「災害対応チュートリアル」の精緻化